農商工労働常任委員会　議事次第

（令和７年５月21日（水）
午　後　１　時　30分　～
於　：　第　７　委　員　会　室）

１　開　　会

２　委員会活動のまとめ

３　そ　の　他

４　閉　　会

農商工労働常任委員会　出席要求理事者名簿
（令和7年5月府議会臨時会）

【商工労働観光部】	
商工労働観光部長	上　林　秀　行
商工労働観光部企画調整理事兼副部長 （労働担当）	河　島　幸　一
商工労働観光部観光政策監兼副部長	野　口　礼　子
商工労働観光部副部長 （総括担当）	玉　木　利　忠
商工労働観光部副部長 （産業創造担当）	山　本　太　郎
産業労働総務課長	安　藤　成　司

【農林水産部】	
農林水産部長	小　瀬　康　行
農林水産部副部長	荻　　安　彦
農林水産部技監	塚　脇　　健
農林水産部理事 （経営支援・担い手育成課長事務取扱）	小　塩　佳　市
農政課長	福　田　純　一
農政課参事	高　橋　英　樹

（ 計　13 名 ）

【商工労働観光部・建設交通部】	
商工労働観光部・建設交通部港湾局長	相　木　　敢

京都府議会
農商工労働常任委員会
活動報告書（案）

令和７年５月　日

委　員　長　　森　口　　亨

副委員長　　能　勢　昌　博

副委員長　　小　原　　舞

委　　員　　園　崎　弘　道
（令和６年10月10日まで）

委　　員　　大　澤　彰　久

委　　員　　津　田　裕　也

委　　員　　北　岡　千はる

委　　員　　西　條　利　洋

委　　員　　浜　田　良　之

委　　員　　森　　吉　治

委　　員　　大河内　　章

委　　員　　梶　原　英　樹

目 次　京都府議会 農商工労働常任委員会 活動報告書

１　委員会の審議等の状況（概要）　……

２　委員会活動状況　……

３　重要課題調査のための委員会　……

４　付託議案及び審査依頼議案審査結果　……

５　付託請願審査結果　……

６　管内外調査　……

７　委員会活動のまとめ　……

1　委員会の審議等の状況（概要）

本委員会は、商工労働観光部及び農林水産部の所管並びにそれに関連する事項を所管している。

各部局の主な所管事項は次表のとおりである。

部局名	主な所管事項
商工労働観光部	中小企業振興等産業、労働、雇用、観光、計量
農 林 水 産 部	農業、林業、水産業、農山漁村地域振興、農林水産物流通、森林保全・共生

京都府議会の各常任委員会では、年４回の定例会において、条例案などの審査を行うほか、議会の閉会中に委員会を開催して、府政の重要課題について、テーマを設けて集中的に審議するとともに、京都府内や他府県に赴いて調査を実施している。

今期の農商工労働常任委員会の閉会中の常任委員会においては、所管事項に関するテーマについての議論を深めるため、参考人制度を活用して、専門的知見を有する方や実際に事業に従事している方の意見を聴取し、テーマに関する議論を掘り下げた。

また、管内調査では、京都府内の施策が実施されている現場等を訪問し、府の事業担当者の説明を聴取するとともに、施設視察を行った。

管外調査では、先進事例や京都府と共通する課題に対して、他の自治体や関係団体がどのような取組を実施しているのか、もしくはどのように対応しようとしているのかを調査した。

２　委員会活動状況

時　期	活　動	議題･テーマ
５　月		
R6.　5.24	委　員　会	■委員長の選任 ■副委員長の選任 ■副委員長の順位
６　月		
R6.　6.　6	正副委員長会	■出席要求理事者 ■確認事項 ■本日の委員会運営
R6.　6.　6	委　員　会 （　初　回　）	■出席要求理事者 ■確認事項 ■所管部局の事務事業概要等 ■今後の委員会運営
R6.　6.18	正副委員長会	■定例会中の委員会及び分科会運営 ■今後の委員会運営
R6.　6.21	委員会及び予算特別委員会分科会 （６定１日目）	■報告事項の聴取 （商工労働観光部） ・「京都府立高等技術専門校条例」の一部改正について （農林水産部） ・第７次京都府食の安心・安全行動計画の策定について ・試験研究で開発された主な成果について ■付託議案及び審査依頼議案（質疑終結まで）
R6.　6.24	委員会及び予算特別委員会分科会 （６定２日目）	■付託議案（討論・採決） ■審査依頼議案（適否確認） ■所管事項の質問（農林水産部）
R6.　6.25	委　員　会 （６定３日目）	■所管事項の質問（商工労働観光部、商工労働観光部・建設交通部） ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
７　月		
R6.　7.12	正副委員長会	■本日の委員会運営

R6. 7.12	委員会（閉会中）	■所管事項の調査 ・「ＩＣＴを活用した有害鳥獣対策について」 参考人：特定非営利活動法人　里地里山問題研究所 代表理事　鈴木　克哉　氏
R6. 7.25 ～ R6. 7.26	管外調査	■所管事項の調査 ○静岡県立農林環境専門職大学 ・静岡県立農林環境専門職大学における人材育成の取組について ・施設視察 ○伊豆市役所 ・伊豆市における有害鳥獣処理及びジビエ利活用の取組について ・現地視察（伊豆市食肉加工センター「イズシカ問屋」） ○静岡県庁［於：AOI-PARC］ ・静岡県における「アグリ・オープンイノベーション（ＡＯＩ）プロジェクト」の取組について ・施設視察
８　月		
R6. 8. 3	管内調査	○鴨川納涼2024　開会式 （行催事等委員会調査）
R6. 8.20	正副委員長会	■本日の委員会運営
R6. 8.20	委員会（閉会中）	■所管事項の調査 ・「府内企業の障害者雇用促進の取組について」 参考人：オムロン京都太陽株式会社 代表取締役社長　長江　豊　氏
９　月		
R6. 9. 3	管内調査	○令和６年度「京都障害者ワークフェア」 （行催事等委員会調査）
R6. 9.20	管内調査	○ＫＹＯＴＯ　ＣＭＥＸ　2024　レセプション （行催事等委員会調査）
R6. 9.24	正副委員長会	■定例会中の委員会及び分科会運営 ■今後の委員会運営

R6. 9.26	委員会及び予算特別委員会分科会（９定１日目）	■報告事項の聴取 （商工労働観光部） ・京都府立勤労者福祉会館条例の一部改正について ・商工労働観光部所管施設における指定管理者の選定について （農林水産部） ・第７次京都府食の安心・安全行動計画の中間案について ・京都府農林水産業人材確保育成戦略（仮称）の策定について ・京都府茶業振興計画の策定について ・京都府豊かな森を育てる府民税事業の評価結果について ■付託議案及び審査依頼議案（質疑終結まで）
R6. 9.27	委員会及び予算特別委員会分科会（９定２日目）	■付託議案（討論・採決） ■審査依頼議案（適否確認） ■付託請願の審査 ■所管事項の質問（商工労働観光部、商工労働観光部・建設交通部）
R6. 9.30	委員会（９定３日目）	■所管事項の質問（農林水産部） ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
10 月		
R6.10. 3	管内調査	○京都スマートシティエキスポ2024 オープニングセレモニー （行催事等委員会調査）
11 月		
R6.11. 9	管内調査	○令和６年度京都府職業能力開発促進大会 （行催事等委員会調査）
R6.11.18 ～ R6.11.20	管外調査	■所管事項の調査 ○株式会社サン・シング東海 ・株式会社サン・シング東海における障がい者雇用の定着支援、生産性向上の取組について ・施設視察 ○森林総合教育センター（morinos（モリノス）） ・森林総合教育センター（morinos（モリノス））における木育の取組について ・施設視察 ○郡上大和総合開発株式会社 〔於：道の駅古今伝授の里やまと〕 ・第３セクターによる地域経済活性化及び雇用創出・人材育成の取組について ・施設視察

		○勝山市観光まちづくり株式会社 ・勝山市観光まちづくり株式会社による地域における観光の産業化の取組について ・現地視察(道の駅恐竜渓谷かつやま) ○北陸デジタルものづくりセンター ・北陸デジタルものづくりセンターにおけるデジタル技術を活用したイノベーション創出の取組について ・施設視察 ○福井経編興業株式会社 ・福井経編興業株式会社における産官学連携を通じた商品開発の取組について ・施設視察
R6.11.22	管内調査	■所管事項の調査 ○京都府中小企業技術センター ・中小企業技術センターにおける中小企業支援の取組について ・施設視察 ○京都農人材育成センター ・京都農人材育成センターにおける人材育成の取組について ・施設視察 ○京都企業人材確保センター及び京都お仕事相談窓口 ・京都企業人材確保センターにおける中小企業人材確保等の取組及び京都お仕事相談窓口における求職者支援等の取組について ・施設視察
R6.11.30	管内調査	○京都府農林水産フェスティバル表彰式典 (行催事等委員会調査)
12　月		
R6.12.10	正副委員長会	■定例会中の委員会及び分科会運営 ■今後の委員会運営
R6.12.12	委員会及び予算特別委員会分科会(12定1日目)	■報告事項の聴取 (商工労働観光部) ・京都府立勤労者福祉会館条例の一部改正について(骨子案) ・商工労働観光部所管施設における指定管理者候補団体について ・京都府立高等技術専門校条例の一部改正について(骨子案) ・「第3期関西観光・文化振興計画(仮称)」中間案について

		（農林水産部） ・京都府農林水産業人材確保育成戦略（仮称）の策定について（中間案） ・京都府茶業振興計画の策定について（中間案） ・京都府豊かな森を育てる府民税について ・京都府豊かな緑を守る条例の一部改正について ■付託議案及び審査依頼議案（質疑終結まで）
R6.12.13	委員会及び予算特別委員会分科会（12定２日目）	■付託議案（討論・採決） ■審査依頼議案（適否確認） ■所管事項の質問（商工労働観光部、商工労働観光部・建設交通部）
R6.12.16	委員会（12定３日目）	■所管事項の質問（農林水産部） ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
１　月		
R7. 1.17	正副委員長会	■確認事項 ■本日の委員会運営
R7. 1.17	委員会（閉会中）	■確認事項 ■所管事項の調査 ・「森林環境譲与税の活用状況と課題について」 参考人：一般財団法人 京都森林経営管理サポートセンター 理事長　川戸 修一　氏
R7. 1.31	管内調査	○令和６年度「未来につなぐ京の木府民会議」全体会 （行催事等委員会調査）
２　月		
R7. 2. 4	管内調査	○ZET-summit2025　オープニング （行催事等委員会調査）
R7. 2. 5	正副委員長会	■本日の委員会運営
R7. 2. 5	委員会（閉会中）	■所管事項の調査 ・「京都舞鶴港の振興について」 参考人：舞鶴倉庫株式会社 代表取締役社長　久保　勝　氏 飯野港運株式会社 取締役　営業部長　吉田　昌樹　氏
R7. 2. 8	管内調査	○第22回アビリンピック京都大会（京都府障害者技能競技大会）開会式 （行催事等委員会調査）

R7. 2.12	正副委員長会	■先行審議に係る分科会運営
R7. 2.12	予算特別委員会 分科会 （２定先行審議）	■審査依頼議案（質疑終結まで）
R7. 2.13	管内調査	○京都ビジネス交流フェア2025　開会式 （行催事等委員会調査）
R7. 2.19	予算特別委員会 分科会 （２定先行審議）	■審査依頼議案（適否確認）
３　月		
R7. 3. 5	正副委員長会	■委員会及び分科会運営 ■今後の委員会運営
R7. 3. 6	委員会及び 予算特別委員会 分科会 （２定１日目）	■付託議案及び審査依頼議案（質疑終結まで） ■審査依頼議案（適否確認）
R7. 3.11	管内調査	○令和６年度京都府立林業大学校卒業証書授与式 （行催事等委員会調査）
R7. 3.11	管内調査	○令和６年度京都府立農業大学校卒業式 （行催事等委員会調査）
R7. 3.13	管内調査	○令和６年度京都府立京都障害者高等技術専門校修了式 （行催事等委員会調査）
R7. 3.13	委員会 （２定２日目）	■報告事項の聴取 （商工労働観光部） ・「第３期関西観光・文化振興計画」最終案について （農林水産部） ・京都府農林水産業人材確保育成戦略（仮称）の策定について（最終案） ・京都府茶業振興計画の策定について（最終案） ・京都府豊かな森を育てる府民税について ■付託議案（討論・採決） ■付託請願の審査 ■所管事項の質問（農林水産部）
R7. 3.14	管内調査	○令和６年度京都府立福知山高等技術専門校修了式 （行催事等委員会調査）

R7. 3.14	委員会 （２定３日目）	■所管事項の質問（商工労働観光部、商工労働観光部・建設交通部） ■閉会中の継続審査及び調査 ■今後の委員会運営
R7. 3.18	管内調査	○令和６年度京都府立陶工高等技術専門校修了式 （行催事等委員会調査）
R7. 3.19	管内調査	○令和６年度京都府立京都高等技術専門校修了式 （行催事等委員会調査）
４月		
R7. 4. 7	管内調査	○令和７年度京都府立陶工高等技術専門校入校式 （行催事等委員会調査）
R7. 4. 8	管内調査	○令和７年度京都府立福知山高等技術専門校入校式 （行催事等委員会調査）
R7. 4. 9	管内調査	○令和７年度京都府立林業大学校入校式 （行催事等委員会調査）
R7. 4. 9	管内調査	○令和７年度京都府立農業大学校入学式 （行催事等委員会調査）
R7. 4. 9	管内調査	○海の民学舎第11期生入舎式 （行催事等委員会調査）
R7. 4.10	管内調査	○令和７年度京都府立京都障害者高等技術専門校入校式 （行催事等委員会調査）
R7. 4.11	管内調査	○令和７年度京都府立京都高等技術専門校入校式 （行催事等委員会調査）
R7. 4.13	管内調査	○けいはんな万博2025開会式 （行催事等委員会調査）
R7. 4.18	正副委員長会	■本日の委員会運営
R7. 4.18	委員会 （閉会中）	■所管事項の調査 ・「フードテックによる農林水産業を含む食関連産業の振興について」 参考人：京都料理芽生会 副会長 株式会社松尾温泉京料理鳥米 代表取締役 田中 良典 氏 京都クッキング・ラボ　所長 栗木 恭二　氏

R7. 4.21	管内調査	○ZET-BASE KYOTO　オープンセレモニー （行催事等委員会調査）
５　月		
R7. 5.10	管内調査	○淀川舟運フェスティバル　オープニングセレモニー・乗船 （行催事等委員会調査）
R7. 5.20	正副委員長会	■臨時会中の委員会運営
R7. 5.21	委員会（５臨）	■委員会活動のまとめ

３　重要課題調査のための委員会

（１）ＩＣＴを活用した有害鳥獣対策について

（令和６年７月12日（金）開催）

■開催概要

野生鳥獣による農作物被害額は依然として高い水準にあり、営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加等、数字に現れる以上に深刻な影響を及ぼしている。狩猟者の高齢化、担い手の減少により対策は急務となっており、京都府では防護柵設置や個体群管理による広域被害対策等の支援、ＩＣＴを活用した鳥獣侵入防止柵をモデル地区で導入する等の対策により農作物被害防止を推進しているところである。

今回の常任委員会では、参考人及び理事者から、ＩＣＴを活用した有害鳥獣対策の実施状況や今後の課題について説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

特定非営利活動法人里地里山問題研究所　代表理事　鈴木　克哉　氏

■出席理事者

【農林水産部】

農林水産部技監、農政課長、農村振興課長、農村振興課参事

■主な質問事項

・ＩＣＴを活用した有害鳥獣捕獲装置に係る通信費への支援について
・狩猟者の担い手創出について
・有害鳥獣対策に係る関係人口の創出・拡大について
・有害鳥獣対策に対する国及び府の補助制度について
・自治体と特定非営利活動法人が連携した有害鳥獣対策について
・高校生や大学生に対する人材育成の取組について
・有害鳥獣対策を地域再生につなげる仕組づくりについて　　など

（２）府内企業の障害者雇用促進の取組について

（令和６年８月20日（火）開催）

■開催概要

民間企業に雇用されている障害者は令和５年６月現在64.2万人となり、20年連続で過去最高を更新している。人材不足が深刻化するなか、障害者の特性を強みとして捉え、その特性と合致した活躍の場を提供することにより、企業にとっても貴重な労働力・戦力の確保につながることが期待されている。

京都府では、地域就労支援機関等との連携により、障害者と京都企業双方にとって適性に合った就労支援を実施し、障害者の就労と企業の人材確保・定着に向けた取組を進めている。

今回の常任委員会では、参考人及び理事者から、障害者雇用促進の取組について説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

オムロン京都太陽株式会社　代表取締役社長　長江　豊　氏

■出席理事者

【商工労働観光部】

企画調整理事兼副部長（労働担当）、労働政策室長、産業労働総務課長、
雇用推進課長、人材育成課長

■主な質問事項

・障害者の雇用定着に向けた取組について
・中小企業における障害者雇用の促進について
・障害者雇用における業種間の課題の違いに対する対応について
・就労継続支援Ａ型事業所の倒産への対応について
・雇用した障害者の処遇について
・「究極のコミュニケーション」の具体的な事例について
・就業体験におけるマッチングを通じた職場のミスマッチを防ぐ取組について
・障害者をサポートする社員に対するサポートや研修について　など

（３）森林環境譲与税の活用状況と課題について

（令和７年１月17日（金）開催）

■開催概要

森林環境譲与税は、パリ協定の枠組みのもと、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、森林経営管理法の制定を踏まえ、新たな財源として令和元年度から都道府県及び市町村へ譲与が開始された。

京都府では、森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に取り組む市町村への支援、森林整備の担い手の確保・育成、木材利用の促進等の取組を推進しているところである。

今回の常任委員会では、参考人及び理事者から、森林環境譲与税の活用状況と課題について説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

一般財団法人　京都森林経営管理サポートセンター　理事長　川戸　修一　氏

■出席理事者

【農林水産部】

農林水産部技監、農政課長、林業振興課長

■主な質問事項

・市町村職員の育成について
・林業におけるデジタル技術の活用について
・市町村に対する上乗せ支援について
・技術革新やＤＸに取り組む人材の確保について
・ドローンやレーザー測量による地籍調査について
・京都森林経営管理サポートセンターの業務執行体制について
・防災の観点からみた森林整備の必要性について
・森林情報の精度向上に向けた取組状況について　　など

（４）京都舞鶴港の振興について

（令和７年２月５日（水）開催）

■開催概要

京都舞鶴港においては、令和３年度から舞鶴国際ふ頭のⅡ期整備及び岸壁（第２バース）整備に着手するとともに、同年４月には、クルーズ船旅客ターミナル「うみとびら」も供用開始され、乗客が安心してクルーズを楽しめる環境づくりが進められている。国際クルーズ船の寄港に関しては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で停止していたが、令和５年４月から本格的に寄港が再開し、令和６年度以降も順調に寄港予約が回復しているところである。

また、物流に関しては、近年の中国直行航路や日韓露国際フェリー航路の休止、コロナ禍における世界規模での物流の混乱等で、貨物量が一時的に減少していたが、新規貨物の獲得に向けた施策の実施により貨物量が回復傾向であり、同港を拠点とした今後の取組を加速させる必要がある。

今回の常任委員会では、参考人及び理事者から、京都舞鶴港の振興について説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

舞鶴倉庫株式会社　代表取締役社長　久保　　勝　氏
飯野港運株式会社　取締役　　吉田　昌樹　氏

■出席理事者

【商工労働観光部・建設交通部】
港湾局長
【商工労働部】
産業労働総務課長、経済交流課長

■主な質問事項

・港湾労働者の雇用状況について
・新たな国内航路確保の取組について
・港湾における防災対策について
・南海トラフ地震等における舞鶴港の代替機能について
・府北部における地域経済状況について
・舞鶴港へのクルーズ船誘致について
・舞鶴港の魅力・強みと港湾振興を図るための戦略について
・舞鶴港整備工事の進捗状況について　　など

（５）フードテックによる農林水産業を含む食関連産業の振興について

（令和７年４月18日（金）開催）

■開催概要

京都府では、食を取り巻く社会情勢の急激な変化を踏まえ、世界に誇る京都の食文化や高い栽培技術と進化し続ける最先端技術を融合させ、京都の農林水産業を含む食関連産業の振興を図ることを目的として、令和５年３月に「京都フードテック基本構想」を策定した。

構想に基づき、京野菜や宇治茶などの伝統的な栽培技術や、大学・世界的企業など最先端技術の集積、世界に誇る食文化や府民の先取の気質という京都の強みを融合する「京都ならではのフードテック」の取組を通じて、府内の食関連産業が抱える課題解決を図り、京の食の高付加価値化と競争力の強化による成長産業化を目指している。

今回の委員会では、フードテックの取組に係る現状、課題等について、参考人及び理事者から説明を聴取し、意見交換を行った。

各委員から出された意見・見解等について、今後の府政の推進に当たり十分留意し、府民のため、なお一層の創意工夫をするよう、理事者に対し要望した。

■参考人

京都料理芽生会　副会長／株式会社松尾温泉京料理鳥米　代表取締役
　田中　良典　氏
京都クッキング・ラボ　所長
　栗木　恭二　氏

■出席理事者

【農林水産部】
農林水産部副部長、農政課長、流通・ブランド戦略課長、
流通・ブランド戦略課参事

■主な質問事項

・京都フードテックエキスポについて
・京料理のレトルト加工に係る技術面・資金面での課題について
・レトルト加工装置導入への支援について
・和食調理技術の継承に係る人材確保について
・「美蓄食」の開発に至るまでの取組について
・フードテックヒルの具体的な事業内容や経済効果、今後の展開について　　など

４　付託議案及び審査依頼議案審査結果

「◎」は全会一致、「○」は賛成多数、「×」は否決、「会派名＝少」は少数意見留保、「＊」は修正案提出

（委員会）

	議案番号	件　　名	審査結果	備　　考
６月定例会	10	京都府雇用の安定・創出と地域経済の活性化を図るための企業等の立地促進に関する条例一部改正の件	◎	
９月定例会	9	保証債務履行請求控訴事件に係る和解の件	◎	
12月定例会	53	京都府食の安心・安全行動計画を定める件	◎	
２月定例会	28	京都府立勤労者福祉会館条例一部改正の件	○共＝少	
	29	京都府立高等技術専門校条例一部改正の件	○共＝少	
	30	京都府豊かな緑を守る条例及び京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例一部改正の件	◎	
	43	指定管理者指定の件（山城勤労者福祉会館）	◎	
	44	指定管理者指定の件（口丹波勤労者福祉会館）	◎	

（分科会）

	議案番号	件　　名	詳細審査結果
６月定例会	1	令和６年度京都府一般会計補正予算（第１号）中、所管事項	適当
９月定例会	1	令和６年度京都府一般会計補正予算（第２号）中、所管事項	適当
12月定例会	36	京都府立勤労者福祉会館条例一部改正の件	適当
	37	京都府立けいはんなホール条例一部改正の件	適当
	38	京都府種畜種付け手数料徴収条例一部改正の件	適当
	39	京都府家畜種雄検査及び検査手数料条例一部改正の件	適当
	40	家畜保健衛生所使用料および手数料徴収条例一部改正の件	適当
	41	京都府立府民の森条例一部改正の件	適当
２月定例会	47	令和６年度京都府一般会計補正予算（第６号）中、所管事項	適当
	51	令和６年度京都府一般会計補正予算（第８号）中、所管事項	適当
	52	令和６年度京都府営林事業特別会計補正予算（第１号）	適当
	54	令和６年度京都府農業改良資金助成事業等特別会計補正予算（第１号）	適当
	55	令和６年度京都府中小企業経営基盤強化資金助成事業特別会計補正予算（第１号）	適当
	57	令和６年度京都府地域開発事業特別会計補正予算（第２号）	適当
	69	府営農業競争力強化農地整備事業等に関する市町村負担金を定める件	適当
	70	府営土地改良事業に関する市町村負担金を定める件	適当
	71	水産物供給基盤機能保全事業に関する市町村負担金を定める件	適当

５　付託請願審査結果

定例会	受理番号	受理年月日	件名	審査結果
９月定例会	94	令和6年9月18日	主食の米を増産し、安定供給することを国に求めることに関する請願	不採択
２月定例会	99 ～457	令和7年2月28日	京都府立城南勤労者福祉会館の存続を求めることに関する請願	不採択
	458	〃	京都府立城南勤労者福祉会館の存続を求めることに関する請願	不採択
	459	〃	米の高騰・農業支援に関する請願	不採択
	460	〃	京都府立城南勤労者福祉会館の存続を求めることに関する請願	不採択
	462	〃	京都府立中丹勤労者福祉会館の存続を求めることに関する請願	不採択
	463 ～471	〃	京都府立城南、中丹、丹後勤労者福祉会館の存続を求めることに関する請願	不採択
	472 ～497	〃	京都府立城南勤労者福祉会館の存続を求めることに関する請願	不採択
	690 ～728	〃	京都府立城南、中丹、丹後勤労者福祉会館の存続を求めることに関する請願	不採択

６ 管内外調査

①　管外調査

（令和６年７月25日（木）～26日（金））

１　静岡県立農林環境専門職大学（静岡県磐田市）

【調査事項】

静岡県立農林環境専門職大学における人材育成の取組について

【調査目的】

京都府における農林業分野における人材育成の取組の参考とするため、静岡県立農林環境専門職大学における人材育成の取組について調査する。

【説明】

静岡県立農林環境専門職大学

【調査内容】

静岡県立農林環境専門職大学は、明治 33 年に端を発する県立農林大学校を母体とし、全国初の農林業分野の専門職大学として令和２年４月に開学した。専門職大学は、専門職業人の養成を目的とする新たな大学として平成 31 年４月に創設された制度であり、高度な実践力と豊かな創造力の育成を目的としている。授業の３分の１以上は実習・実技であること、長期の企業内実習で現場を体験できること、学位が取れること等の特徴がある。

同大学は、農林業経営のプロフェッショナルを養成する専門職大学であり、基礎的な生産技術に加え、経営管理や加工・流通・販売の知識、先端技術への対応力などの幅広い知識・技術を身に付けて、将来の農林業経営の現場を支えていくとともに、農山村の景観や環境、文化などについても学び、地域社会のリーダーとしてそれらを守り育んでいくことができる人材の養成を目指している。本年春には、初めて卒業生を送り出し、それぞれ農業関係へ就職した。

全国的に基幹的農業従事者数は減少しているが、食や食糧生産への関心は世界的に高まりを見せており、産業としての農業を支え、ビジネスとして経営できる人材が必要とされる中、専門職大学が人材育成において果たす役割は大きく、専門職大学制度の更なる周知や、人材育成等で成果を出すことにより、我が国の農業の発展に寄与していきたいとのことであった。

【主な質問事項】

・県内農業高校卒業生の農林環境専門職大学への進学について
・卒業生の進路について
・大学校から専門職大学への移行について　　など

調査事項を聴取

施設視察

２　伊豆市役所〔現地視察：伊豆市食肉加工センター「イズシカ問屋」〕（静岡県伊豆市）

【調査事項】
　伊豆市における有害鳥獣処理及びジビエ利活用の取組について

【調査目的】
　京都府における有害鳥獣対策の取組の参考とするため、伊豆市における有害鳥獣処理及びジビエ利活用の取組について調査する。

【説明】
　伊豆市役所産業部農林水産課

【調査内容】
　伊豆市では、鹿やイノシシによる農作物被害の経済損失が年間１億円以上に及び、捕獲量の維持・増加が大きな課題であった。また、捕獲した鹿等のほとんどを狩猟者自らが埋設処分しており大きな負担であることに加え、環境衛生面からも課題となっていた。そこで、伊豆市は狩猟者の負担軽減や買取制度導入による意欲向上、食べるという形で命を最大限活用することにより生き物への感謝の意を示すため、平成 23 年４月、全国的にも珍しい公設公営の食肉加工施設「食肉加工センター「イズシカ問屋」」を開設した。
イズシカ問屋では、年間約 900 頭前後の鹿等を受け入れており、加工した肉は市内の精肉店に卸し、精肉店が市内の飲食店に提供している。また、平成 30 年にイズシカ問屋に併設の減容化処理施設を建設した。減容化処理施設は、微生物を使って鹿等を水とガスに分解する施設であり、買取りの対象とならない鹿等についても、減容化処理施設において受け入れており、狩猟者の負担が軽減されている。
　令和４年度のイズシカ問屋の収支は、支出約 3,700 万円（人件費込み）、収入 2,300 万円と１千万円を超える赤字となっているが、伊豆市内の農作物被害は、施設稼働前は年間１億円以上に及んでいたものが令和４年度には約 2,200 万円と８千万円程度減少しており、施設の赤字額については伊豆市内の鳥獣被害対策のための経費と考えているとのことであった。

【主な質問事項】
・鹿やイノシシの買取価格について
・狩猟者等利用者の声について
・施設設置に当たっての県からの支援について
・費用対効果を上げるための取組について　　など

調査事項を聴取

現地視察

３　静岡県庁〔於：ＡＯＩ－ＰＡＲＣ〕（静岡県沼津市）

【調査事項】
静岡県における「アグリ・オープンイノベーション（ＡＯＩ）プロジェクト」の取組について

【調査目的】
京都府における農業生産性向上及び農業を軸とした関連産業のビジネス展開促進の取組の参考とするため、静岡県におけるアグリ・オープンイノベーション（ＡＯＩ）プロジェクトの取組について調査する。

【説明】
静岡県経済産業部

【調査内容】
「アグリ・オープンイノベーション（ＡＯＩ）プロジェクト」は、農業分野にオープンイノベーションの手法を取り入れ、研究機関や民間事業者、生産者など多様な主体が知見やアイデアを出し合い、研究開発や事業化を進め、農業の生産性向上と関連産業のビジネス展開を推進する静岡県の先端産業創出プロジェクトである。①革新的な栽培技術や品種開発を実施した農業の飛躍的な生産性の向上、②産学官金の幅広い参画を得た農業を軸とした関連産業のビジネス展開、③環境負荷低減と生産性・収益性を両立する持続可能な農業の実現の３つを大きな柱としている。
プロジェクトの拠点は、東海大学の旧校舎を改修し、平成 29 年に開所したＡＯＩ－Ｐ

ＡＲＣであり、県農林技術研究所、慶應義塾大学、理化学研究所などの学術・研究機関や民間企業、生産者等が入居し、イノベーションの源泉たる知の集積拠点となっている。
ＡＯＩ－ＰＡＲＣにおける連携により生み出された研究成果は、県内外の産学官金の多様な主体が参画するＡＯＩフォーラムにおいてビジネスマッチングにより高付加価値化や実用化が図られ、新産業創出や農業所得の向上、地域経済の発展につながっている。その結果、新たな研究機関や企業の参画、外部資金の獲得等でフォーラムがさらに拡大・発展し、絶え間なくイノベーションが創出される好循環が形成されているとのことであった。

【主な質問事項】
・農業の未来の課題に対する取組について
・お茶の霜害に対する品種改良等の研究について
・ＡＯＩフォーラムの会員資格について　　など

調査事項を聴取

施設視察

農商工労働常任委員会　管外調査日程

令和６年

月日	発　着　地	発時刻	着時刻	摘　要
7月25日（木）	**京都駅２階　新幹線中央口　　９：５０　集 合、　１０：０８　出 発**			
	京　都　駅	10:08		【ひかり502号】
	浜　松　駅	11:25	11:13	【借上バス】
	（昼　食）	（12:00～12:50）		（静岡県磐田市内）
	静岡県立農林環境専門職大学 （静岡県磐田市）	14:45	13:15	◆静岡県立農林環境専門職大学における人材育成の取組について ①概要説明 ②施設視察
	宿　　舎		17:00	（静岡県伊豆の国市内）
7月26日（金）	宿　　舎	9:15		【借上バス】
	伊豆市役所 （静岡県伊豆市）	11:00	9:30	◆伊豆市における有害鳥獣処理及びジビエ利活用の取組について ①概要説明 ②バス移動（質疑応答） ③現地視察（伊豆市食肉加工センター「イズシカ問屋」）
	（昼　食）	（11:45～12:35）		（静岡県沼津市内）
	静岡県庁 〔於：AOI-PARC〕 （静岡県沼津市）	14:45	13:15	◆静岡県における「アグリ・オープンイノベーション（ＡＯＩ）プロジェクト」の取組について ①概要説明 ②施設視察
	三　島　駅	15:46	15:20	【ひかり517号】
	京　都　駅		17:37	【解　散】

②　管外調査

（令和６年11月18日（月）～20日（水））

１　株式会社サン・シング東海（岐阜県揖斐郡大野町）

【調査事項】

株式会社サン・シング東海における障がい者雇用の定着支援、生産性向上の取組について

【調査目的】

京都府における障害者の就労と企業の人材確保・定着に向けた取組の参考とするため、株式会社サン・シング東海における障がい者雇用の定着支援、生産性向上の取組について調査する。

【説明】

株式会社サン・シング東海

【調査内容】

株式会社サン・シング東海は、寝具を中心とした病院・介護用品のリース事業などを展開する特例子会社であり、株式会社トーカイと岐阜県、大野町による第３セクター方式により平成５年度に設立された。事業内容は、寝具類の製造加工、寝具類の丸洗い洗濯、羽毛布団のリフォーム等であり、従業員 55 名のうち障がい者 32 名が雇用されている。

平成 24 年～令和５年の 12 年間における障がい者の新卒・中途採用者数は 17 名、一方退職者はなく、一般的に障害者の離職率が高い中、定着率が非常に高い状況となっている。同社における障がい者長期定着雇用の取組として、障がい者の複数雇用やフォロー体制の確立により障がい者を孤立させないこと、専門支援員や職業生活相談員等の有資格者の配置、多能工化、成果の見える化、懇親会の開催等によるモチベーションの維持・向上、就職前の現場実習による適性化の見極め等が実施されている。

今後の課題として、障がい者本人や両親の高齢化に伴う介護の問題等、生活面の課題が指摘されており、民生委員や自治体との連携を進めるとともに、自治体における施策の充実に期待したいとのことであった。

【主な質問事項】

・行政との連携について
・定着率向上の取組に係る他業種へのアドバイスについて
・生産性向上のための取組について　　など

調査事項を聴取

施設視察

２　森林総合教育センター（morinos（モリノス））（岐阜県美濃市）

【調査事項】

森林総合教育センター（morinos（モリノス））における木育の取組について

【調査目的】

京都府における木材利用の気運醸成、利用等の促進に向けた取組の参考とするため、森林総合教育センター（morinos（モリノス））における木育の取組について調査する。

【説明】

森林総合教育センター

【調査内容】

森林総合教育センター（morinos（モリノス））（以下「モリノス」という。）は、岐阜県が誇る「木と共生する文化」を次世代につないでいくため、平成 25 年３月に策定した「ぎふ木育 30 年ビジョン」の実現に向け、すべての人と森をつなぎ、森と暮らす楽しさと、森林文化の豊かさを子どもから大人まで段階的に伝える森林教育の総合拠点として、岐阜県立の専修学校である「森林文化アカデミー」の生涯教育部門として令和２年に整備された。

モリノスでは、森林教育の専門家や団体等と連携し、プログラムを開発して実践し、県内への普及を図っている。例えば、小学校、保育園などの教育機関と連携した演習林での森林体験や、自然体験活動に必要な技術や野外での救命救急法など指導者として必要なスキルアップを図るプログラム、幼児から大人まで幅広い世代を対象としたプログラムなど、令和５年度実績で 116 種、379 回のプログラムを実施している。さらに、企業と連携した取り組みとして、清水建設株式会社と連携した「はだしの広場」の整備、住友林業株式会社と連携した「森の出番プロジェクト」を実施している。

学びとは教わるものではなく感じるものとの認識のもと、提供するプログラムについても、モリノスが与えるのではなく、自分たちで感じた上で木や森や地域を愛し、それを自らが広く伝えていくことを目指しているとのことであった。

【主な質問事項】
・森林総合教育センター設置の経緯について
・森林総合教育センターの運営体制、運営費、財源について
・県内産木材の利用促進について
・子どもに対する木育に係る他機関との連携について　　など

調査事項を聴取

施設施設

３　郡上大和総合開発株式会社〔於：道の駅古今伝授の里やまと〕（岐阜県郡上市）

【調査事項】
第３セクターによる地域経済活性化及び雇用創出・人材育成の取組について

【調査目的】
京都府における地域活性化及び雇用創出・人材育成の取組の参考とするため、郡上大和総合開発株式会社による地域経済活性化及び雇用創出・人材育成の取組について調査する。

【説明】
郡上大和総合開発株式会社

【調査内容】
郡上大和総合開発株式会社は、東海北陸自動車道の建設費約６億円を償還するため、昭和 63 年に設立された第３セクターであり、「道の駅古今伝授の里やまと」の他、「古今伝授の里フィールドミュージアム」、「ぎふ大和ＰＡサービス施設」、「やまと温泉やすらぎ館」の管理運営を行っている。
収益を地域に還元するため、市内業者とのネットワークづくりに取り組んでおり、市内業者、生産者と連携して名産品開発研究会を設立し新商品開発の機運を醸成する取組や、どぶろく特区認定取得による地域活性化、地元料理屋さんと連携した大和産キャビアの販売等を行っている。また、事業の一部を地域のまちづくりや自治会活動、福祉団体・イベント等の活動の支援に充てることで収益を地域全体に循環させている。

また、同社は地元郡上高校卒業生の就職先となっているが、人材育成の取組として、乳製品製造技術取得のため１か月間国内研修へ派遣したり、パン工房採用予定者をフランスのパリやプロバンスへ海外研修派遣し、若者が好む職種の開発を行ったりしている。また、スイス・ツェルマットのスノーリゾート視察に派遣し、観光サービス業の人材育成にも取り組んでいる。さらに、農家の女性の起業を支援するため、農産加工所、厨房、レストランを整備して貸与し、株式の一部を同社で取得して経営支援を続ける取組も行っている。

これらの取組により、地元商工業者・農業者の新市場づくりや若者・女性が働ける場所づくりを行い、「暮らし続けられるまち」、「誇りがもてるまち」の実現を目指していくとのことであった。

【主な質問事項】

・顧客ニーズを把握する方法について
・地域づくりの取組を全国に波及させるためのポイントについて
・人材育成のための仕組みづくりについて　など

調査事項を聴取

施設視察

４　勝山市観光まちづくり株式会社〔現地視察：道の駅恐竜渓谷かつやま〕（福井県勝山市）

【調査事項】

勝山市観光まちづくり株式会社による地域における観光の産業化の取組について

【調査目的】

京都府における持続性のある観光推進の取組の参考とするため、勝山市観光まちづくり株式会社による地域における観光の産業化の取組について調査する。

【説明】

勝山市観光まちづくり株式会社

【調査内容】

勝山市観光まちづくり株式会社は、勝山市及び周辺地域における「観光の産業化」をミッションとして 2016 年に設立され、観光の産業化に資する事業を以下の４つのカテゴリーに分けて展開している。

〇地域商社：地域事業者が稼ぐこと

・ 地域のお土産や農産品などの新たな販路を提供し、生産・加工・販売までサポートすることで地域経済が巡るプラットフォームを提供

〇地域プロデュース：地域事業者が成長すること

・ 地域商社事業で得たデータやノウハウを基に、事業者の新たな商品開発やプロジェクトの立ち上げをプロデュース

〇ＤＭＯ：観光資源を磨き上げること

・ インバウンド誘致や現状不足している観光プロダクト、コンテンツの拡充

〇まちづくり：チャレンジの機会を増やすこと

・ まちづくりに資する人材等コンテンツ育成の学びの機会の提供

また、これらの各カテゴリーを横断させながら各事業の成長を促し、事業が「めぐる」仕組みの構築を目指している。

勝山市観光まちづくり株式会社は、行政からの補助金が収入ベースで５％以下、利益ベースで１％以下である一方、勝山市へは年間 1,500 万円以上納付している。今後も、地域経済を活性化するだけでなく、行政に頼らない運営を目指し、自らが稼ぎながら、次の事業へ投資を行うなど、行政に頼らず、地域の課題をビジネスで解決することを目指し取り組んでいくとのことであった。

【主な質問事項】

・観光客のターゲットについて
・北陸新幹線開業に伴う京都・大阪との連携について
・観光の産業化の取組による定住人口の増加について　　など

調査事項を聴取

現地視察

５　北陸デジタルものづくりセンター（福井県坂井市）

【調査事項】
　北陸デジタルものづくりセンターにおけるデジタル技術を活用したイノベーション創出の取組について

【調査目的】
　京都府における新産業の創成・育成に向けた取組の参考とするため、北陸デジタルものづくりセンターにおけるデジタル技術を活用したイノベーション創出の取組について調査する。

【説明】
　北陸デジタルものづくりセンター

【調査内容】
　北陸デジタルものづくりセンターは、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、「産総研」という。）が全国に展開する 12 番目の研究拠点として、北陸地域の主要産業である繊維産業や金属加工業におけるデジタルものづくりの取組を支援するため、2023 年５月に設置された。中小企業・スタートアップ企業等のデジタルものづくりなどの高付加価値化・生産性向上等のための取組を支援し、イノベーション創出を通じて、北陸地域をはじめ、日本における新産業の創成・育成、地域経済の活性化に貢献することを目的としている。
　繊維産業分野では、姿勢や動作、呼吸・心拍数を計測する機能等を有する繊維・布地・シート・衣類の研究開発を行い、運動計測や生理計測により妥当性・有用性を検証することで、つくり手とユーザーが体験価値を共創するスマートテキスタイルの社会実装を目指している。金属加工業分野では、「デジタルものづくり」を加速する金属３Ｄ造形技術の研究開発を行い、金属加工技術の高精度、高効率化を目指している。北陸デジタルものづくりセンターの具体的な機能は、北陸地域の企業・公設試・大学等との共同研究、製品化・事業化に向けた試作・評価支援、企業への技術コンサルティング、産学官連携活動を通じた人材育成支援、地域のイノベーションエコシステム構築・強化支援等である。
　産総研は、2023 年４月に 100％出資により、オープンイノベーションの強化、エコシステムの構築や新規事業創出等の技術支援の専門部隊である株式会社 AIST Solutions を設立しており、同社との協業により、産学官による新たな価値を創造する取組を加速させていくとのことであった。

【主な質問事項】
・企業との共同研究におけるデータの所有権について
・所有する検査機器の情報について
・デジタルものづくりの加速と技術職員の雇用について　　など

調査事項を聴取

施設視察

６　福井経編興業株式会社（福井県福井市）

【調査事項】

福井経編興業株式会社における産官学連携を通じた商品開発の取組について

【調査目的】

京都府における中小企業等の新商品開発支援の取組の参考とするため、福井経編興業株式会社における産官学連携による商品開発の取組について調査する。

【説明】

福井経編株式会社

【調査内容】

福井経編興業株式会社は、繊維の主要産地である福井県に立地する国内最大規模の経編生地製造会社である。2000 年代、繊維産業に中国をはじめとするアジアの国々が台頭し、業界の先行きに対する強い危機感を抱いた同社の髙木義秀代表取締役社長は、商品の付加価値を上げるためにどうするかを模索し、国内にとどまらず世界への挑戦を試みた。2010 年には、世界最高峰のファッション素材見本市「プルミエール・ヴィジョン」に参加し、同社が開発した、当時は難しいとされていたシルクの糸を編み込む技術を展示して高い技術力をアピールした。この新技術を発表してから髙木氏は医療分野への挑戦を決意し、試行錯誤を経て人工血管の製造技術の開発に成功した。その後、大阪医科薬科大学の根本慎太郎教授から、日本製の先天的心臓疾患を有する子どもの手術に使用する、患者の自己組織に置き換わり、身体の成長に合わせて伸張可能な特殊素材である心・血管修復パッチの開発依頼を受け、大手繊維メーカー・帝人とも協働し、開発がスタートした。国立研究開発法人日本医療研究開発機構の「医工連携事業化推進事業」にも二期連続で採択、2018 年には厚生労働省の「先駆け審査指定制度（現:先駆的医薬品等指定制度)」の対象品目に指定されて優先的に相談や審査が受けられることになった。この心・血管修復パッチは 2024 年６月 12 日に販売開始となり（製品名:シンフォリウム)、およそ 100 人に１人の割合で生まれるとされている先天性心臓疾患の外科治療に

おいて、再手術のリスクが軽減されることが期待されており、池井戸潤氏の小説「下町ロケット・ガウディ計画」」のモデルにもなった。今後も、様々な分野において、先を見据えて、海外に負けないものづくりをさらに強めていきたいとのことであった。

【主な質問事項】
・中小企業に対する県からの支援について
・北陸デジタルものづくりセンターとの連携について
・福井経編興業株式会社の社訓について　など

調査事項を聴取

農商工労働常任委員会　管外調査日程

令和６年

月日	発　着　地	発時刻	着時刻	摘　要
11月18日（月）	**京都駅２階　新幹線中央口　８：５５　集 合、　９：１０　出 発**			
	京　都　駅	9:10		【こだま712号】
	岐阜羽島駅	9:55	9:46	【借上バス】
	株式会社サン・シング東海 （岐阜県揖斐郡大野町）	12:00	10:30	◆株式会社サン・シング東海における障がい者雇用の定着支援、生産性向上の取組について ①概要説明 ②施設視察
	（昼　食）	（12:45～13:45）		（岐阜県美濃市内）
	森林総合教育センター （morinos（モリノス）） （岐阜県美濃市）	15:30	14:00	◆森林総合教育センター（morinos（モリノス））における木育の取組について ①概要説明 ②施設視察
	宿　　舎		16:05	（岐阜県郡上市内）
11月19日（火）	宿　　舎	9:45		【借上バス】
	郡上大和総合開発株式会社 〔於：道の駅古今伝授の里やまと〕 （岐阜県郡上市）	11:30	10:00	◆第３セクターによる地域経済活性化及び雇用創出・人材育成の取組について ①概要説明 ②施設視察
	（昼　食）	（11:50～12:40）		（岐阜県郡上市内）
	勝山市観光まちづくり株式会社 （福井県勝山市）	15:30	14:00	◆勝山市観光まちづくり株式会社による地域における観光の産業化の取組について ①概要説明 ②現地視察（道の駅恐竜渓谷かつやま）
	宿　　舎		16:10	（福井県福井市内）
11月20日（水）	宿　　舎	9:40		【借上バス】
	北陸デジタルものづくりセンター （福井県坂井市）	11:40	10:00	◆北陸デジタルものづくりセンターにおけるデジタル技術を活用したイノベーション創出の取組について ①概要説明 ②施設視察
	（昼　食）	（11:50～12:50）		（福井県福井市内）
	福井経編興業株式会社 （福井県福井市）	14:45	13:15	◆福井経編興業株式会社における産官学連携を通じた商品開発の取組について ①概要説明 ②施設視察
	福　井　駅	15:40	15:00	【つるぎ29号】
	敦　賀　駅	16:13	16:01	【サンダーバード30号】
	京　都　駅		17:09	【解　散】

③　管内調査

（令和６年11月22日（金））

１　京都府中小企業技術センター（京都市下京区）

【調査事項】
中小企業技術センターにおける中小企業支援の取組について

【調査目的】
中小企業技術センターにおける中小企業に対する技術支援や人材育成支援、企業のニーズに応えた研究開発や産学公連携の推進、企業に役立つ技術情報の発信等の取組状況について調査する。

【説明】
中小企業技術センター

【調査内容】
京都府中小企業技術センターは、府が設置する公設の試験研究機関であり、「技術支援」「人材育成」「研究開発」「情報発信」の４つを業務の柱としている。綾部市に「中丹技術支援室」、けいはんな学研都市の木津川市・相楽郡精華町に「けいはんな分室」を設置しているほか、経営支援を担う公益財団法人京都産業21とともに「京都府産業支援センター」を構成し、「技術」と「経営」のワンストップ総合サービスを提供している。

技術支援のうち技術相談は、センターにおける重要な業務であり、府内中小企業を中心とした企業の技術的な課題について、デザイン・設計・電気等７つの専門分野の職員が総合的に対応している。また、分析が必要な場合は、職員が測定等を行う依頼試験や利用者自らが機器を操作し分析を行う機器貸付により対応を行っている。令和５年度の技術相談・指導件数は2,174件、機器貸付件数は3,147件、依頼試験件数は1,469件であり、コロナ禍が明けて以降再び増加傾向となっている。人材育成では、研究会やセミナー・講習会の開催により技術者の技術力、製品開発力等の向上を図っており、令和５年度は220回開催し、延べ参加者数は4,724人であった。研究開発では、企業や大学等との共同研究や受託研究、企業ニーズや業界動向に沿った職員による自主研究、企業と職員が協働して課題解決を行う企業連携技術開発支援事業を行っている。このような研究開発の成果は、ホームページ、メールマガジン、各所での展示会や機関誌にわかりやすく掲載し、企業に広報している。

センターでは、今後も憲章に掲げる理念のとおり、「京都府産業を支える中小企業の技術力向上を支援し、企業活動と地域経済の発展に貢献」するため活動していきたいとのことであった。

【主な質問事項】
・検査ニーズの多様化への対応について
・職員体制及び人材育成について
・セミナー・講習会の開催状況について
・大学や他の検査機関等との連携について
・府内拠点施設との連携状況、役割分担について　　など

調査事項を聴取

施設視察

２　京都農人材育成センター（京都市南区）

【調査事項】
京都農人材育成センターにおける人材育成の取組について

【調査目的】
新規就農者、個人農業者、農業法人など各々の経営に応じた研修を企画、実施することにより、地域を牽引する農人材を育成する京都農人材育成センターの人材育成の取組について調査する。

【説明】
京都府農業会議

【調査内容】
京都農人材育成センターは、「農人材の育成・確保」を担う組織であり、一般社団法人京都府農業会議が事務局を担っている。「相談」「体験」「本格研修」「営農開始」「経営力強化・発展」の一連のステップを踏みながら、総合的支援を行うとともに、新規就農者、個人農業者、農業法人など各々の段階や経営手法に応じた研修を企画、実施することにより、地域を牽引する農人材を育成している。
相談については、農林水産業ジョブカフェが窓口になっているが、相談件数は平成 24～25 年度をピークに減少傾向となっている。これは、雇用情勢が回復したこと、ＩＴによる情報収集等によるものと考えられる。今後、国・民間主催の相談会等への出展、新規就農等のモデル成功事例や新規就農者の受入れに意欲的な地域のＰＲなど、情報発信力

の強化に努め、相談件数の増加を図りたいとのことである。体験については、新規就農・就業を希望する者に対しインターンシップ研修を実施している。研修終了後に農業法人で継続雇用されるケースもあり、お互いウィン・ウィンの関係となることが期待される一方、中丹や丹後地域における研修希望者が少ないことが課題となっている。雇用就農資金等を活用する若者が毎年 50 名程度あり、経営体の運営体制の強化や新規就農者の育成につながっているが、研修生の中には、農業への理解不足、体力面、雇用条件との不一致から離職・転職する者もあり定着率を高める取組が求められる。営農を開始した後のサポートとして、農業経営相談や農業経営塾により、農業者のスキルアップに取り組んでいるとのことであった。

【主な質問事項】
・就農相談において工夫していることについて
・京都農業経営塾の卒塾生の状況について
・ＳＮＳ等による発信について
・移住者に対する支援について
・農の雇用事業、雇用就農資金事業について　　など

調査事項を聴取

施設視察

３　京都企業人材確保センター及び京都お仕事相談窓口（京都市南区）

【調査事項】
　京都企業人材確保センターにおける中小企業人材確保等の取組及び京都お仕事相談窓口における求職者支援等の取組について

【調査目的】
　令和６年５月に開設された京都企業人材確保センターにおける中小企業人材確保等の取組及び京都お仕事相談窓口における求職者支援等の取組について調査する。

【説明】
　商工労働観光部企画調整理事兼副部長

【調査内容】

(1) 京都企業人材確保センター

京都企業人材確保センターは、「京都ジョブパーク」「京都府テレワーク推進センター」「京都府生涯現役クリエイティブセンター」の企業支援部門を統合して令和６年５月に開設された。これまでのノウハウを活かしながら、「人材確保と職場環境改善は車の両輪」との考えの下、就労環境改善による企業の魅力向上から求職者とのマッチングまで、一気通貫で支援を行う。幅広く支援企業を開拓し、専門支援員が人材確保・定着に向けた伴走支援を行うほか、企業が従業員に対して子育てに優しい職場環境づくりに向けた具体的な行動を宣言し、実践することにより、企業における妊娠・出産、子育てを理解して支援する風土や子育てしやすい職場をつくり、更には子育てを社会全体で応援する機運醸成等に取り組んでいる。京都企業人材確保センターをはじめとした支援機関の存在や支援内容が周知されていないことが課題の一つであり、ＳＮＳでの発信や企業、大学等に出向いたアウトリーチ活動によりＰＲに取り組んでいきたいとのことであった。

(2) 京都お仕事相談窓口

京都お仕事相談窓口は、就職・転職活動、学び直しによるキャリアアップなど、「お仕事」に関する様々な悩みに対して、支援機関や支援制度による最適な解決プランを提案する総合相談窓口である。令和６年５月に、京都テルサ及び京都経済センターの２か所に開設したことにより、相談者が訪問しやすい窓口での相談が可能となり、京都ジョブパーク及び京都府生涯現役クリエイティブセンターの相談件数も大幅に増加している。また、窓口への来所が困難な方には、令和６年７月から新たにシナリオ型チャットによる問い合わせ支援サービスを開始し、24 時間 365 日対応するとともに、チャットによる就労相談を実施している。なお、就労前及び就労以外の課題を抱える相談者もあり、福祉部門や教育部門との情報交換による連携をさらに促進していきたいとのことであった。

【主な質問事項】

・相談件数の推移について
・シナリオ型チャットによる「問い合わせ支援サービス」の利用状況について
・中小企業の人材確保に当たり工夫していることについて
・ひきこもりから就業を目指す人に対する支援について
・京都ジョブパークの認知度向上の取組について　　など

調査事項を聴取

施設視察

農商工労働常任委員会　管内調査日程

令和６年

月日	発　着　地	発時刻	着時刻	摘　要
11月22日（金）	**議会棟　１０：０５　集 合、　１０：１０　出発**			
	議会棟	10:10		【ジャンボタクシー】
	京都府中小企業技術センター （京都市下京区）	12:00	10:30	◆中小企業技術センターにおける中小企業支援の取組について ・概要説明 ・施設視察
	（昼　食）	（12:05～12:55）		（京都市内）
	京都農人材育成センター （京都市南区）	14:45	13:15	◆京都農人材育成センターにおける人材育成の取組について ・概要説明 ・施設視察
	京都企業人材確保センター 及び 京都お仕事相談窓口 （京都市南区）	16:15	15:00	◆京都企業人材確保センターにおける中小企業人材確保等の取組及び京都お仕事相談窓口における求職者支援等の取組について ・概要説明 ・施設視察
	議会棟		16:40	【解散】

テレビ取材

７　委員会活動のまとめ

５月臨時会の委員会（令和７年５月21日開催）において、各委員から、１年間の「委員会活動のまとめ」として、本委員会の所管事項に関する総括的な所感や、意見・要望等の発言があった。

以下、その内容を発言順に記載した。

行催事等に係る委員会調査の結果概要について

商工労働観光部

行催事等名	主催者名 （招待者名）	会　場 （市区町村名）	年　月　日
令和６年度 京都府立陶工高等技術専門校修了式	京都府	京都府立陶工高等技術専門校 （京都市東山区）	令和７年３月18日（火）
令和６年度 京都府立京都高等技術専門校修了式	京都府	京都府立京都高等技術専門校 （京都市伏見区）	令和７年３月19日（水）
令和７年度 京都府立陶工高等技術専門校入校式	京都府	京都府立陶工高等技術専門校 （京都市東山区）	令和７年４月７日（月）
令和７年度 京都府立福知山高等技術専門校入校式	京都府	京都府立福知山高等技術専門校 （福知山市）	令和７年４月８日（火）
令和７年度 京都府立京都障害者 高等技術専門校入校式	京都府	京都府立京都高等技術専門校 （京都市伏見区）	令和７年４月10日（木）
令和７年度 京都府立京都高等技術専門校入校式	京都府	京都府立京都高等技術専門校 （京都市伏見区）	令和７年４月11日（金）
けいはんな万博2025開会式	けいはんな万博2025運営協議会	けいはんなプラザ （相楽郡精華町）	令和７年４月13日（日）
淀川舟運フェスティバル オープニングセレモニー・乗船	京都府、宇治市、 八幡市かわまちづくり協議会、久御山町、 淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり協議会、 京都ふしみ五四市協議会、合同会社伏水酒蔵小路、京阪ホールディングス株式会社	府立伏見港公園　人工芝エリア （京都市伏見区）	令和７年５月10日（土）

農林水産部

行催事等名	主催者名 （招待者名）	会　場 （市区町村名）	年　月　日
令和７年度 京都府立林業大学校入学式	京都府	和知ふれあいセンター （船井郡京丹波町）	令和７年４月９日（水）
令和７年度 京都府立農業大学校入学式	京都府	京都府立農業大学校 （綾部市）	令和７年４月９日（水）
海の民学舎第11期生入舎式	海の民学舎運営協議会	京都府水産事務所 （宮津市）	令和７年４月９日（水）